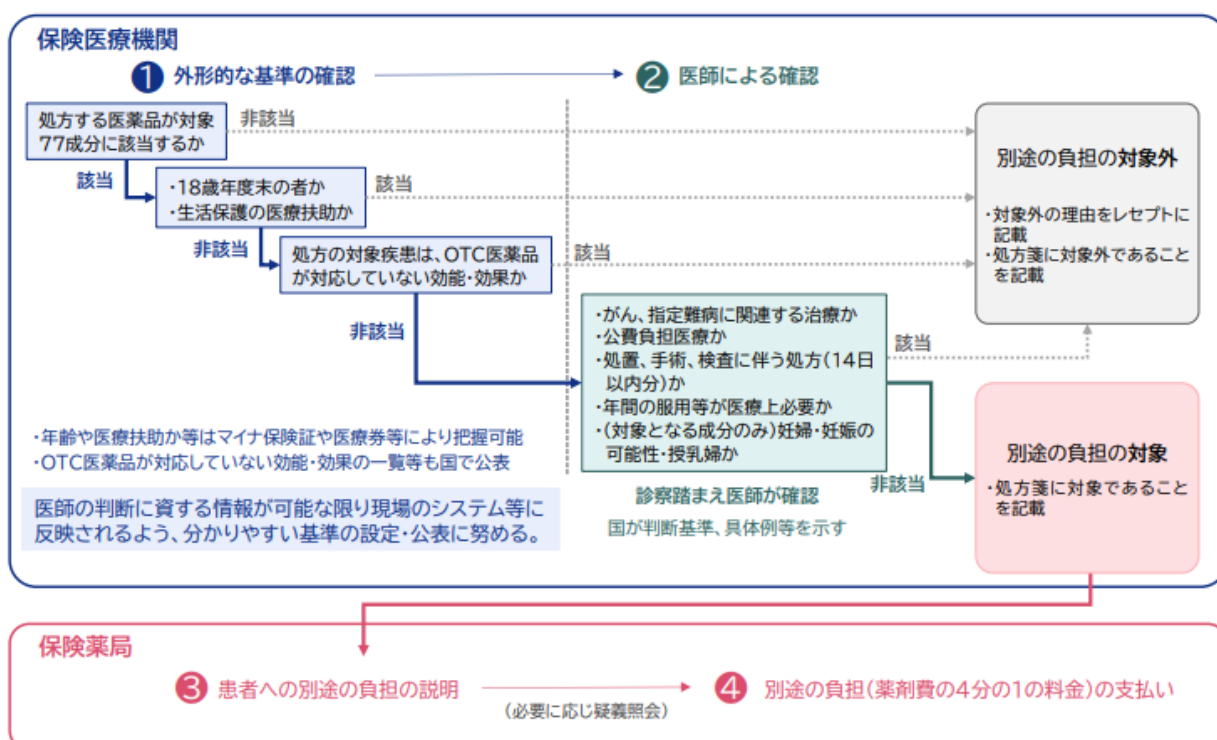


8. 受付業務の知識 No. 8

現役世代の保険料軽減や医療用医薬品と OTC 医薬品の利用における公平性を踏まえ、OTC 類似薬について、通常の自己負担とは別に保険外負担(特別の料金)を患者に求める新たな仕組みが創設されることが決まったことを受付業務の知識 No.3 にて取り上げました。その仕組みについて、厚生労働省は、8 月 26 日の中央社会保険医療協議会にて OTC 類似薬の一部保険外療養の実務フローが示されました。今回は実務フロー及び OTC 類似薬の保険給付の見直しの実施に向けた技術的検討会「中間とりまとめ」(概要)について取り上げました。

OTC類似薬の一部保険外療養の実務フロー(院外処方の場合)



※ 制度が複雑化しないよう、OTC類似薬の一部保険外療養に該当する場合は、長期収載品の選定療養の特別の料金は求めないこととする。

15

* 実務フローチャートによると別途の負担の対象か対象外かは処方箋に記載されることとなり、患者への別途の負担の説明を実施した上で、負担の支払いを行ってまいります。

OTC類似薬の保険給付の見直しの実施に向けた技術的検討会「中間とりまとめ」(概要)

検討の前提

- ・ 健保法改正で、OTC医薬品と成分、投与経路が同一で、一日最大用量が異なる医療用医薬品(約77成分)を使用する場合には、原則として別途の負担(薬剤費の4分の1)を求めることとした。

必要な受診が確保されるよう、効能効果の対応関係・別途の負担を求めない範囲等を検討し、中間的にとりまとめた

1. OTC医薬品では対応できない効能効果

医療用医薬品とOTC医薬品では、効能効果が異なる場合があり、各成分毎に効能効果の対応関係を検討した

効能効果の違い(例)(青字はOTC医薬品にない効能効果)

対象成分	医療用医薬品の効能効果	OTC医薬品の効能効果
フェキソフェナジン塩酸塩(抗アレルギー薬)	アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒	花粉、ハウスダスト(室内塵)などによる次のような鼻のアレルギー症状の緩和:くしゃみ、鼻水、鼻づまり

▶ 蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒の場合は、別途の負担の対象外

ヘパリン類似物質(保湿剤)	血栓性静脈炎、血栓性静脈炎に基づく疼痛と炎症性疾患(注射後の硬結並びに疼痛)、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、進行性指掌角皮症、皮膚欠乏症、外傷(打撲、捻挫、挫傷)後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸(乳児期)、凍瘡	さす・火傷のあとの皮膚のしこり・つっぱり(顔面を除く)、手指のあれ、むじ・ひざ・かかと・くるぶしの角化症、手足のひび・あかぎれ、乾皮症、小児の乾燥性皮膚、しもやけ(ただれを除く)、打ち身・捻挫後のはれ・筋肉痛・関節痛
---------------	---	--

▶ 血栓性静脈炎、血栓性静脈炎に基づく疼痛と炎症性疾患(注射後の硬結並びに疼痛)、筋性斜頸(乳児期)の場合は、別途の負担の対象外

2. がん、難病患者への使用等

別途の負担の対象外とする者・療養の具体的な範囲について検討した

別途の負担を求めない者・療養(例)

- ◆ がん患者(がんに関連ない症状は負担対象)
- ◆ 指定難病患者(軽度者も含む。)(指定難病と関連ない症状は負担対象)
- ◆ 国の公費負担医療の受給者(公費負担と関連ない症状は負担対象)
- ◆ 入院中(退院時を含む)の使用
- ◆ 処置等に伴う14日分までの使用
- ◆ 内服薬:50週を超える場合は別途の負担の対象外
- ◆ 外用薬:長期使用にエビデンスがある場合を除き負担対象
※ただし、一定の重症患者への長期使用の実態を踏まえ、湿布・皮膚保湿剤等は別途の負担の対象外とする令和10年度末までの経過措置を講じて、それまでに診療ガイドラインのエビデンスの状況等を踏まえ、必要な見直しを行う。
- ◆ OTC添付文書に「服用しない」と記載されている「妊婦」、「妊娠している可能性がある女性」、「授乳婦」(例:イトブリド)

3. 現場の実務・患者の納得感

現場の実務が複雑になり、医師によって判断が分かると、患者の納得が得られないため、できるだけ統一的な仕組みとすべき

今後、「中間とりまとめ」を医療保険部会等に報告し、令和8年秋頃を目途に結論を得る予定

*引き続き必要な医療が確保されるよう別途の負担を求めない範囲(子ども・がん患者・指定難病患者・国の公費負担医療の受給者・入院患者・処置等の一環で行われる処方・低所得者・長期使用・OTC添付文書に「服用しない」と記載されている「妊婦」、「妊娠している可能性がある女性」、「授乳婦」)について中間とりまとめがされたが、令和8年9月中にOTC類似薬の一部保険外療養の仕組みについてのとりまとめる予定となっています。

資料：厚生労働省ホームページ

【概要】OTC類似薬の保険給付の見直しの実施に向けた中間とりまとめ資料

(<https://www.mhlw.go.jp/content/12403550/001734915.pdf>)

OTC類似薬の保険給付の見直しの実施について

(<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/001750154.pdf>)

令和8年9月作成